

フリスワフとミズハン)府海01400km控をたのむ。JA1Gの同様の交信は始めてかと思ひます。
JA1Gの事は日常茶飯事に話題にもなる事でしょう。EUに及ぶの経験は初印象と一番深い
ものにしたい。それに日本海に3680を刺したDLのHamは目をくらます事でしょう。さあ412双方のRig
はFT-732R(25W公称入力)小松OMのAntは8ELEの2本2本さうして受信用732R、筆者が「おれ」
単に2m/70cm用DuoBand GPでした。これを費残に2m2'のSKDを組んでおけばいいと思ひ 212

144.360MHz, 21.00UTC(22.00MEZ), 毎週金曜日 SSB(USB)

SKD Time 又たの世(現). Hamburgから Münchenまで「途中橋下所を中継して」フリスワフ」
SSDを組むと本報です。

ハムフェア '88 報告

杉本OM(JA1GWL)のしりぞ

今年もJANET CLUBはハムフェアに参加しました。N2ATF小林OM他、主
としてアメリカ東海岸の方々の努力のおかげで空輸されてきたJANET NEWS第6
号はあっという間に残部僅少となりましたし、DF2CW壱岐OMの格別のご配慮によるド
イツで活躍中のOM,YLの写真、QSLカード付き大地図も好評でした。KA1ZC藤田OMか
ら届けられたニュージャージー・パーベキュー大会の写真とJA3AER/N2ATT荒川
OMが持ち帰られたビデオテープに見入る方々も多く、楽しい小間との評判でした。

折よく出張で来られたN2JA塚本OM, N1CIX秋山OMも顔を出された他、毎週ネッ
トで声だけはお馴染みのJH4IFF右遠OM, JG2FBL坂口OM等がわざわざ来てくだ
さいました。特筆すべきはJM3CRW服部OMの大活躍で、会期中を休みなく小間に詰
めて、気を配っていただきました。JA0BUA佐藤OM, JG1BUF酒村ハム一家も
三日間連続出場でした。参加されたメンバーは約30名にもなりました。沢山の方々
から心のこもった差し入れとご寄付をいただいたのも有り難いことでした。来年も皆様の
楽しい出会いの場とすることができるように努めますので、これまで以上のご協力をお願い
申し上げます。

8月26日から28日 現「東京晴梅」で行われたハムフェアは私共JA1GのPR Etc. でした。JANETの2の
一隅を拝見し、DLの地図と共に「活躍中の私共のQSLカード」の写真を展示しました。中嶋(JA1HFK),
杉本(JA1GWL)両OMの協力に感謝致す。

----- München での Eye ball QSO -----

去る11月11日、ミズハンで行われた日本電機ELECTRONICAのDJφERとDCφFM 両OMが来るのを残
念に筆者と共に中国料理店の畔路「おれ」が「QSO」の14時を過ぎました。又、小松市からJEZAIN
西用OMも別見本市の島にいらした。OMはDL/JEZAINのQRV1でした。Rigは当地にいたC500 DuoBand
(27.5MHz)でした。話のやり取り最近ハム雑誌の外を拝見は困難な事なにも。とて西用OMと話を
共進から「おれ」6EP1, 42 をどの子供の頃のうしろ作りを思い出したものでした。

= AKTIVITÄT =

FD1MUU (JF1SAG): 毎週末JA1GのSKDにQRVされたい。元々の由、来3月18日に15分家族宅に? 考案したのとLTR Enkk'子も、OMはTS-430k'はホノの由JAkは良く信う'が。

JAZLIL (DJφMBB): 帰国後は6の音気と思、いしたる先FBをsig. 28kが'あり SKD Time が一層のよか'に'なり。XYLのJG3TFNの'声も'聞か'れ'が' 1700JSTは'夕暮の'交'り'の'NG'と。

JR3P2W (DL/JR3P2W): 木村OMは1985年か'86年'に'DL' 駐'在'、予'て'セル'フル'に'在'る' Packet' の'活'躍' 上'れ'る'事'は' 皆'採' 用' 承'知'の'事'と思'が'。11月1日'に' 函'館' 来'居' 上'れ' たい。OMのDLの'一'層'の'活'躍'を'期'待'し'たい。

DCφFM (JAφCQP): 23cm' への'QRV' 出'来' 採'取' した'由'。ANT. は' 北' 70°, OSCAR' に' 対' して' は' 3' レ'ビ'の'あ'り'。2'レ'ビ'の'制'御'の'サ'テ'ラ'イ'ト'に' QRV. サ'テ'ラ'イ'ト'に' 従'って' 居'る'。

DL/JA7SQQ.: 無'定'型'式'の'ア'ン'テナ'の'製'作'中'の'部'品'の'給'付'は' 予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。肝'心の'ア'ン'テナ'の'入'り'出'り'を' 予'て' 承'知'し'たい。秋'葉'系'の'予'て' 承'知'し'たい!

DJφUL (JA1SC): '予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。4U1ITU' を'通'じ'て' 声'も' 聞'か'れ' たい。予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。

DJφQ8: 予'て' JA, 更'は' DL' と' 予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。

LX1AA (KE2CX, GφGRV): DL' の' 隣' 国' に' 居'る' の' 由'。OM' の' QRV' 上'れ' たい。

モ'ビ'ル' 用' の' ア'ン'テナ'の' 製'作'中'の'部'品'の'給'付'は' 予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。

DJφER: 以'前'の'音'の'あ'り'。Packet' の'活'躍'中'に'な'り'。最近'は' 予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。

JAG' の' SKD' に' 従'って' sig. JAk' 何'れ' だ'か' 予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。

DDSKJ (JN1UUJ): DL' の' 独' 身' 生'活'、時'間'が' 少'ない'の' 由'。夜'は' 音'気'を' 聞'か'れ' たい。

更'は' AF' と' W' の' 一'生' 懸'命' 活'動'。予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。

JAG' の' 2m' の' NET' も' 計'画'中'に'な'り'。予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。

DL/JR18WB (S24WB, JR18WB): '予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。元'来'の'由'。QSP' が' あり' たい。

先'の' 任'地' は' 予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。

DF2CW (JA7HM): '予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。

予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。予'て' 承'知'の'事'に'な'り'。

天倉からHB9の相互運用協定の話の進展 1988年12月2日
状況の推移が如何なるかにふたのしめ、
OM 早く実現してほしい。

拝復 その後お元気でご活躍の事と思います。

9月25日付のお手紙を頂きながら返事が遅れてしまい誠に申し訳なく思っております。

さて貴信に有りましたJA-HB9の相互運用協定に関してですが、結論から申しますと今年の春にJAIGに掲載していただきました「運用協定の問題点について」の内容以後何らの新しい動きも生じておりません。つまり3点に絞られている問題点の中で、一番のネックになっているのは日本語の使用に関してです。両国がお互いに自国の立場に固執し、接近を図ろうという姿勢が見えず、スイス側が日本語を認めなく、日本側が日本語に固執する限り両国間の協定は今すぐにはあり得ないものとの印象をもっております。

因みに、1988年の1月にJ. A. R. L. の笠原元国際課課長から頂いたお手紙に拠りますと、「日本側から日本語の使用を認めろという事を言っているようですが、これは論外で、過去5カ国と合意していますが、このような条件は付けていません。早速、郵政関係者と協議し、英語でも十分という結論を出すように努力したいと思っています」。また「郵政の担当者が新人となったため、アマチュアに対する理解度が低く困っています」とのことです。

スイス側担当者は自身がアマチュア無線家で理解が有るようなのですが、日本語の使用を許可するとすると条例の改正が伴うので自分一存ではいかなないものがある、とおっしゃっております。この担当者も間もなく定年ですので、その後の担当者の動きを見てみようと思っている所です。

以上あまり役に立たない内容ですがご報告とさせていただきます。

寒さ厳しきなる折、ご自愛され益々のご活躍をお祈り致しております。

敬具

Best 73 de J16HKA

矢倉 博

Japanische Funkamateure trafen sich

Am 19.3.88 fand in Denzlingen bei Freiburg in Zusammenarbeit mit dem OV Emmendingen, A16, das vierte Treffen der japanischen Funkamateure in Deutschland (JAIG - Japanese Amateurs In Germany) statt.

Die Gruppe JAIG wurde im Februar 1985 in Winnigen bei Koblenz gegründet. Seitdem finden zu dieser Jahreszeit regelmäßige Treffen statt.

Nach der Statistik sind in DL derzeit 67 Lizenzen an Japaner erteilt, wovon ca. 20 Stationen aktiv sind.

Die Zahl der Lizenzanträge japanischer Funkamateure in DL ist steigend durch die immer enger werdenden Beziehungen auf den Sektoren Wirtschaft, Wissenschaft und Kultur.

Der größte Teil unserer Freunde aus JA bleibt relativ kurze Zeit hier, wobei wenig Möglichkeiten bestehen, mit deutschen Funkamateuren in näheren Kontakt zu treten. Daher ist die Gruppe JAIG bestrebt, nicht nur die Beziehungen und Freundschaften unter Japanern zu fördern, sondern auch mit gleichgesinnten Deutschen.

Der Organisator der Gruppe, OM Kuni Iki, DF2CW/JA7HM, lädt zu den künftigen Treffen in DL alle interessierten deutschen und japanischen YLs und OMs ein. Einzelne Amateure und OVs, die an einer Zusammenarbeit oder an Kontakten interessiert sind, können sich an DF2CW,

wenden.

Kuni Iki, DF2CW

本誌の「旅行」の標子がCQDL 7月号にこの様に掲載されました。

JAIGの次回「旅行」は1989年3月18日に同じ設立の地モゼール河畔のウルズリンゲンで行われ、詳細はふたのしめ「取組み」巻頭の目録表にこの日をお知らせいたします。よろしくお願いいたします。

お礼:

本誌の「JAIG-NEWS」DLが活躍中である活躍後帰国されたJAのHam BU 本誌の「旅行」に共感と持ち行動を共にDL, WのHamに自動船に乗り込んでいる。初発射教は次々に増えその際限を欠かさない。その費用は一部の読者の協力で「まひる」が「限有」の「しめ」に「ふたのしめ」の「Post」の代金を有効に使っている。たまたQTHの喪失が「ある場合」お知らせしたいと考えています。

EUに滞在中の「ふたのしめ」は「各々の進行」を「進めたい」それ以外の用（JAも含む）に「お礼」1年以上の間の連絡も「ふたのしめ」は「進めたい」ことを「ふたのしめ」の「しめ」に「しめ」。

73 de DF2CW Orl 4